

令和8年度 第1回名寄市中小企業振興審議会会議録 (要旨)

開催日 令和8年5月29日(金曜日)

開催場所 名寄駅前交流プラザよろーな 2階 会議室3

出席委員 審議会委員 会長 大野 茂実
副会長 中尾 公一
委員 和田 英則
委員 今野 聖士
委員 五十嵐 千絵
委員 萬谷 千絵
委員 伊豆倉 広之
委員 木賀 義友
委員 遠藤 和之
委員 石田 雅子
委員 鎌塚 英則
委員 松前 聡美

名寄市 山田 経済部長
池田 産業振興課長
柳瀬 産業振興課主査
大森 産業振興課主事
佐々木 産業振興課主事

～ 下記のとおり審議会を開催いたしました。 ～

1 開会 13:15～

2 挨拶

【会長】

本審議会は、地域の暮らし、産業を支えるために必要な審議会である。皆様の貴重なご意見をいただき、活発な審議会となるようご協力をお願いしたい。

【副会長】

道内の人口が500万人を割る中、札幌市やその周辺に人口が集中している。地方には人口減少、人手不足など課題がある。課題に向け対応を模索していかなければ地域が成り立たない。皆様と一緒に知恵を出し対応を模索していきたい。ご協力をお願いします。

3 報告事項

報告事項（1）について事務局より説明

【会長】

報告事項（1）について意見・質問はあるか。

【委員】

運転資金について、昨年度の高額融資実績が減少しているが、これは返済が大変であり融資を受けない、つまりは中小企業が苦しい状況に置かれているのか。そのような企業の経営状況の傾向分析はされているか。

【事務局】

運転資金については、審査を行い予算の範囲内で各金融機関を通じ融資をしている。よって、経営状況については市の制度融資実績分で多少分析が可能かもしれないが、他にも金融機関等の様々な融資があるため単純に市の融資実績だけで今の市内の企業の経営状況の判断は困難。各金融機関が出している景況レポート等の方がより企業の状況を知るには間違いはない。

-----その他意見・質問なし-----

報告事項（2）について事務局より説明

【会長】

報告事項（2）について意見・質問はあるか。

【委員】

企業活力強化支援事業について、汎用性の高いものは補助対象外とあるが汎用性とはどこで判断するのか

【事務局】

例えば、パソコンをはじめとして、他の用途にも使用可能なものは汎用性が高いと判断される。ただし、パソコンも、専属のシステムを入れ、事業でしか使用出来ない等専用性が高いものであれば補助の対象になり得る。

【委員】

新商品開発・販路拡大支援事業について、本事業を利用するために新商品を開発している事業者がある。元々良い商品も多くあるため、新商品に限らずもう一度名寄にある良い商品を見直して販路拡大ができる補助金があれば、今ある良い商品をもっと広げていけるのではないかと。

【事務局】

今回、既存商品の販路拡大のみについては対象外として見直しを行った。今ある商品の販路拡大に対する補助金が国にもあるためそちらを活用していただきたい。

【委員】

名寄で人づくり事業について、企業は経費をかけ対象者を学校に通わせ資格取得させている。仮に試験に不合格の場合、その年度は補助対象外となるのか。また、補助対象外となる場合、企業は多額の経費をかけているため、次年度に合格した際に前年度、学校に通わせた経費を補助対象経費としていただきたい。

【事務局】

不合格の場合は補助対象外である。基本的に補助概念としては年度主義である。次年度は前年度の経費は補助対象としていない。ただ、意見として年度をまたいで補助経費とできるかは内部で検討・研究する。

【委員】

人づくり事業について、中小企業者に対しての補助金であり、一人につき限度額 12 万円だが、一企業につき申請件数の制限はあるのか。

【事務局】

条件的には設定していない。申請件数の制限はない。予算がなくなれば終了。

【会長】

中小企業振興条例関係補助金については、今後ともご意見ご質問あれば事務局にお伝えいただきたい。

【事務局】

その時々状況に応じた支援メニューに変更していく必要もあり、都度、委員皆様のご意見等をいただきたい。

-----その他意見・質問なし-----

報告事項（３）について事務局より説明

【会長】

報告事項（３）について意見・質問はあるか。私からもう少し要約をお願いしたい。

【事務局】

令和 6 年度にも高校生を対象に調査を実施した。その際、調査項目でチェーン店や大型店舗を除く名寄の企業の認知度について調査した。結果、半分の生徒が名寄の企業を知らないと答え、1 社から 5 社の少しだけ知っていると答えた生徒が約 4 割という結果になり名寄の企業があまり高校生に知られていないことがわかった。併せて、中学生には将来住みたい、働きたいという町はどこか問うと約 5 割は決まっていない回答となり、同じ質問を高校生に問うと約 8 割が名寄市以外と回答した。成長するにつれ名寄が将来住みたい就職したい町から選ばれなくなる状況が読み取れる結果となった。少しでも地元の子どもたちに残ってもらえる取組をしていくため、その基礎資料として今年度も調査を実施したい。また、大学生を対象とした調査を今回初めて実施し「名寄に来てどう思ってるか、名寄に対してどう思ってるか」など率直な意見を伺い、中・高生の調査と併せて基礎資料としたい。労働実態調査については市内の 3 名以上雇用の企業に対し調査を実施する。

-----その他意見・質問なし-----

報告事項（４）について事務局より説明

【会長】

報告事項（４）について意見・質問はあるか。本事業は令和８年度で終わるということだが、事務局の説明にもあったが、補助金交付決定額の約１０倍もの工事費があり効果がある補助事業。こんな素晴らしい補助金はなく復活要望させていただきたいと考えている。今後もしも色々ご意見聞や情報を聞いていきたいと考えているのでよろしくお願いしたい。

-----その他意見・質問なし-----

報告事項（５）について事務局より説明

【会長】

報告事項（５）について意見・質問はあるか。

【委員】

今現在、特例条例の計画はあるのか？

【事務局】

今のところはない。

-----その他意見・質問なし-----

４ その他

-----意見・質問なし-----

【会長】

皆さんの声をたくさん引き出しこの審議会を通して市に伝えていくことが大切。私たちが様々なことを考え、次の世代に受け継いでいけるような補助制度としていきたい。この審議会が名寄の未来を一步でも前に進める役割を果たしていきたい。

５ 閉会